

## 第2回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事録

日 時	平成27年8月7日(金) 午後2時から午後4時
場 所	柏原市民文化会館リビエールホール1階会議室
出 席 者	○松井委員長 ○奥田副委員長 ○石村委員 ○大村委員 ○岡村委員 ○宮崎委員 ○重森委員 ○大堀委員 ○株式会社オリエンタルコンサルタンツ
欠 席 者	○谷委員 ○巳波委員
事 務 局	○石橋 企画調整課長 ○瀬田 企画調整課参事 ○山本 企画調整課長補佐 ○大井 柏原市商工会事務局長
会 議 次 第	1 地方創生に向けた戦略策定アンケートの速報結果について 2 柏原市人口ビジョン(案)について 3 まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)について 4 その他
会 議 資 料	○第2回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 次第 ○資料1：柏原市 地方創生に向けた戦略策定アンケート結果 速報版 ○資料2：柏原市 地方創生に向けた戦略策定アンケート結果 速報版(年齢別/結婚・出産・子育て・定住) ○資料3：まち・ひと・しごと創生 柏原市人口ビジョン(素案) ○資料4：まち・ひと・しごと創生 柏原市総合戦略(骨子案) ○資料5：施策体系図 ○資料6：市民の意見から考える施策事業

### 議 事

#### 【開会】

(事務局)

開会挨拶

## 1. 地方創生に向けた戦略策定アンケートの速報結果について

- (事務局) アンケートの速報結果(資料1・2)についての説明  
次回、Webアンケート調査、アンケート完成版を提示する。
- (A委員) 八尾市内を「他市町村」の分類と区別しているのは、意図があるのか。
- (事務局) 国の地域経済分析システム(リーサス)で柏原市の転入・転出を見たところ、八尾市が多かったのでピックアップをした。
- (A委員) 大阪市も抽出して良いと思う。
- (委員長) 修正していきたい。今後、自由意見など多くの意見を参考にして、施策等を検討していきたい。
- (B委員) アンケートの速報は市民に公開するのか。
- (事務局) 速報版は委員会用に提示した。市民には最終版を提示したいと考えている。
- (B委員) 母数が違うグラフがあるが、表記の仕方に問題があるのではないか。棒グラフの表示の仕方を読み取りを間違えるのではないか。
- (委員長) 修正してもらいたい。
- (B委員) 自由記述を読んで気になったのだが、下水道が整備されていない箇所がまだあるのか。
- (事務局) ある。
- (C委員) 結婚願望などを聞いているが、シングルマザー、初婚で結果が変わるのではないかと思う。シングルマザーか初婚かを区別しているのか。
- (事務局) 区別はしていない。無作為抽出でのアンケートである。
- (委員長) 資料1と資料2の違いは何か。
- (事務局) 資料2は年齢別にクロス集計した分を提示している。高齢者と若い方の意見を見ることができるように作成した。
- (委員長) 資料1のp.15問18など、誤解のないように整理してもらいたい。
- (C委員) 人口ビジョンでは転出超過となっているのに、アンケートでは「住み続けたい」という割合が高い。周辺市町村と比較ができないか。転出先は八尾市が多いが、割合が高いかどうか判断できないか。
- (委員長) 他市町村のアンケート結果等を入手して判断できないか、事務局で検討して貰いたい。
- (事務局) 国のシステムで調べたい。意識については、他市町村に確認したい。

## 2. 柏原市人口ビジョン（案）について

- (事務局) 柏原市人口ビジョン（案）（資料3）についての説明
- (委員長) 対象期間を国の期間に従い、2060年としているが、良いか。それ以降のページは、人口動態、産業関係のデータを載せている。人口ビジョンは、市の目標人口を設定し、目標を達成するために施策を検討していくこととなる。P38に市の独自推計のパターンを示している。人口は減っているが、施策を充実することにより、人口減少を抑えることとなる。
- (C委員) 人口流出をストップするということが重要だと思うが、5年間で1.24から1.89に上がることを実現の可能性はいかなものか。P49のSWOT分析は全体の課題になっている。子育てと結婚の課題をもっと明らかにする必要があるのではないか。フランスでは、結婚の考え方を抜本的に変えている。
- (委員長) 確かに、過去の数字を見ると、出生率が高い時期でも1.38なので、難しい感じがする。人口推計の中には、子育て以外にも「にぎわいのあるまち」による定住促進なども含まれるがそのあたりはどうか。
- (事務局) 施策に反映するが、結婚、子育てだけの施策ではない。
- (委員長) 表記が特化しているだけだと思う。
- (D委員) パターン3-3を採用し、2025年までに人口置換水準を2.07まで上昇すると仮定しているが、その後も人口はゆるやかに増加している。自然増と社会増の比率が知りたい。
- (事務局) 社人研をベースに推計している。移動率が縮小していく過程となっているため、そのようになっている。
- (D委員) 自然増になっているのであれば、社会減を減らした方がより効果的なのではないか。
- (委員長) 特殊出生率のみではなく、社会増も考えたシミュレーションが現実的ではないか。
- (事務局) シミュレーション3-4として、人口の移動率がゼロになるケースも検討した。その場合は、人口が減らない推計となり、あまりにもかけ離れるので現実的ではないと判断した。しかし、社会減を抑えると効果はあるといえる。
- (委員長) 本日は、パターン3-3の数字を目標とすることであるが、表現の仕方を考える必要がある。定住化促進策も考えているのでそれらを踏まえたパターン3-3の推計を行い、戦略を具体的に組み立ててもらいたい。推計概要など表現の仕方を変えてもらいたい。

### 3. まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）について

- (事務局) まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）（資料4・5・6）についての説明
- (委員長) 戦略の骨子案について説明があったが、事務局で考えている事業は、資料5にある事業を戦略に盛り込むことになる。シートに事業をはめ込んで、委員の方に見てもらいたい。素案を提示するにあたって、結婚、子育て、定住化などどのような事業を実施すればいいのか考えがあれば、次回ご意見を伺いたい。メールでも構わない。次回というのはいつになるのか。
- (事務局) 9月に素案を提示する予定であったが、上乗せ交付金には応募しないことになった。先行型事業もすべて使いきっていないので上乗せ交付金には応募していない。現在、実施事業の提案を各課に依頼しており、総合戦略にどのような事業を盛り込むのか検討している。そのため、今回は、内容を詰めたものを提示したいこともあり、9月下旬か10月上旬で委員会を開催したいと考えている。その間は、メールで意見を伺いたい。
- (委員長) 目標人口を基に、施策を検討していきたいとの事であるが、市のワーキングでの意見を踏まえ、意見交換ができるようにしてもらいたい。あくまで戦略は人口ビジョンの目標値をたてて、目指していくものとなる。
- (B委員) 総合戦略が重要となるが、資料5の事業内容がわからない。戦略の基本方針と施策は合っていない。資料5でもあっていないが、これら施策を実施しても効果が上がらないのではないのか。既存施策と新規施策を均等に配分すると予算額が小さくなり効果が上がらないのではないのか。本当に、定住化施策になるのか問題である。観光関係もあるが、施策が観光振興になるのか疑問である。国際交流事業についても国際交流といえるのかどうか疑問である。ましてや、国に追加予算も求めないとのことで問題がある。予算のシミュレーションをしているのか。部分的なものしかできないのではないのか。
- (事務局) 上乗せ交付金を応募しないというのは平成27年度のことであり、28年度の予算は取りに行く。
- (委員長) 新規事業は、予算を考えなければいけないので既存施策を組み合わせている。現在は、施策を詰めていく段階であり、いろいろとご意見を伺いたい。定住化施策の意見などいただきたい。
- (B委員) 予算を考えないのであれば、いろんな意見がある。アンケート調査では道路整備の意見が多い。道路整備ができるのか。

- 大型店舗の意見も多いが、予算がかかる。ソフト面を重視した意見を言えば良いのか。
- (委員長) お金の制約を考えると意見が言えない。忌憚のない意見を伺いたい。戦略に盛り込むかどうかは、今後、検討していきたい。雇用、人を呼び込むなど考える必要があるが、ハード面はそぐわない感じがする。ソフト事業で工夫しながら実施していくこととなる。
- (B委員)  
(委員長) 資料5では、既存事業のハード事業も載っている。既存事業は予算が取れているので記載されている。新規施策では、ハード面は、難しいのではないかと。ソフト面での事業を検討していくこととなる。
- (C委員) ひと・まち・しごとの着地点は人口流出防止が着地点になるのか。パターン3-3にまち・ひと・しごとを組みわせることにより、明確になるのではないかと。SWOT分析と連携しないといけない。既存事業と新規事業があるが、どこまでが既存でどこまでが新規で、数値がどのようになるのか整理すれば明確になるのではないかと。
- (事務局)  
(委員長) 意見については、個別に対応させていただく。KPIで数字を出せるようになれば、もっと分かりやすくなると思う。
- (D委員)  
(委員長)  
(D委員)  
(委員長) 予算が厳しいと思われるが、予算が無い中で民間や外部の活用や連携を考えた施策を考えてもらいたい。事業の実施段階で委託や民間活用を検討していくこととなる。行うべき事業であればどのようにしたら出来るのかを考える必要があると思う。委員からいろいろと意見があったが、事業を明確に整理して、効果の有無を判断してもらう必要があるのではないかと。既存の計画であれば、できるだけ早く p.6 以降を整理してもらいたい。
- (A委員) 結婚、出産、子育ての自由意見では、年齢層、男女の区別をしてもらいたい。特に女性の意見がわかるようにしてもらいたい。
- (事務局)  
(副委員長) そのように対応する。プランをメールで考えてもらいたいとの事であったが、5年以内の事業を考えるべきなのか。
- (事務局) 5年で成果がでるのが基本となる。予算が必要になり、戦略に盛り込んだが、実施できなかったということもありうる。
- (F委員) 資料5にある事業は全て事業をならべているだけである。市独自のオリジナリ性が市に対する関心や市民アピールになるのではないかと。この機会を活かして、オリジナルなものを考

- えてもらいたい。
- (委員長) 内容は今後つめていくが、目玉も必要である。また、表現の仕方や見せ方の検討も必要である。それが、効果的な資料作りとなるので事務局の方で検討してもらいたい。アンケート調査結果は、完成次第、委員に送付する。総合戦略は、5年で効果がえられそうな施策を考えてもらいたい。
- (事務局) 意見については、メール等を活用しながらやりとりをしたい。

以上



委員会の様子